

洋書輸入協会会報

VOL. 3
NO. 9

昭和44年9月

理事会報告

8月18日（月）

米国 McGraw-Hill Publications の Director-Circulation Development の Mr. R. Blackburn 来日を機会に、協会理事一同と懇談したい旨の申入れがあり、McGraw-Hill Publications Overseas の Mr. Owens をまじえ、理事会を開催した。

8月26日（火）

(一) Mr. Owens より、更に前回に引き続き討議したい旨の申入れがあったので、霞が関ビル15階の同氏事務所において再び理事一同と懇談。

(二) その前に、フランス・フラン切下げに伴う対策委員会の状況報告、British Week 委員会の経過報告等を行い、懇談会開催を決定。

9月10日（水）

懇談会開催に先立ち、懇談会議事の整理を行うと共に、McGraw-Hill 問題について討議。

懇談会報告

9月10日（水）

(一) 議題

- (1) フランス・フラン切り下げについて。
- (2) McGraw-Hill 問題。
- (3) British Week について。

以上を主な議題として、午後2時より日本出版クラブにおいて洋販渡辺氏司会により開催された。出席27社。

(二) ドイツ Ausstellungs- und Messe-GmbH des Börsenvereins des Deutschen Buchhandels の Ronald Weber 氏出席。

ドイツ新刊書籍展に関する挨拶。

(三) 理事会報告（丸善関口氏）

(四) 各委員会報告。

- (1) 会報委員会より（紀伊国屋相良氏）
- (2) 秋季合同セールの件（国際服部氏）
- (3) 経営委員会より（東光堂石内氏）
- (4) 雑誌資料委員会より（日賀井出氏）
- (5) 文化厚生委員会より（洋販渡辺氏）

- (6) 価格査定委員会より（紀伊国屋相良氏）
- (d) British Week について。
- (1) 概況報告（丸善関口氏）
- (2) 武道館運営人員配置について（国際服部氏）
- (3) 武道館設備その他について（洋販栗原氏）
- (4) 科学技術館の運営について（紀伊国屋相良氏）
- (e) フランス・フラン切り下げについて、及び東大フランス・フラン問題報告（紀伊国屋相良氏）
- (f) 英国 Everret の広告問題（丸善関口氏）
- (h) McGraw-Hill 問題（U S 山川氏）及び之に関する討議。

極東書店一條氏を始め、活潑な意見が提出され、討議を行った。結局今一度会合を持つこととし、午後6時散会。

関西支部だより

- (一) 夏季厚生事業「海の家」は8月20日好評裡に閉幕、利用者は延90名に及んだ。
- (二) 協同カタログ目下順調に進行中。

雑誌欠号委員会報告

会報 Vol. 3 No. 7 の報告に少しふれました 米国の Mack Printing Co. に対し、印刷引受雑誌名の一覧表を要求していましたが、このたび同社よりそのリストを入手しましたので、概要をお知らせします。

引受雑誌の発行元は米国化学会（ACS）をはじめ、理工学関係学術専門誌の主要出版社40を数え、その印刷雑誌数は117誌に及んでいます。従って同社のストによる印刷遅延は、吾々業者並びに購読者に与えた影響は非常に大きいものと考えられます。本年3月才1週より移動しはじめましたが、印刷スケジュールは大幅にずれています。現在大部分の雑誌は予定に復しつつあるとのことですが、特に Chemical Abstracts は、正常発行にもどるのは9月才1週頃になる模様です。

なおこのリストをご要望の方は協会事務局までお申し下さい。写をお送りします。（海外出版 三原記）

会 員 紹 介

《頭 脳 の 商 売 へ》

株式会社 東 光 堂 書 店

同社は昭和5年、石内茂吉現社長の個人営業として発足、おもに建築・美術・デザイン関係文献の輸入に力をそそいだ。当時の学生たちが現在、関係業界の第一線で活躍していることもあって、建築家やデザイナーのあいだに広い地盤を築き上げるにいたった。

戦時中、中断のあと、昭和25年に再開、27年に株式会社に改組し、30年に日本橋の現在地に移転した。戦後は商業美術関係の開拓にいっそう力を入れ、「東光堂に借金をしていないデザイナーはもぐりだ」《ダイヤモンド社刊＝デザイナーの世界》と言われるほど、この分野で広く深く根をはっている。

現在、世界で最も質の高いとされる商業美術誌《グラフィス》などの発行所であるスイスのグラフィス社、コルビジェなど巨匠の作品等の発行所アルテミス社、ドイツのコッホ社、イタリアのアルフェリ社などの出版物の日本総代理店である。同店は外売に重点を置いているが、地の利を得た同店のショー・ルームは、常時数千点の専門書を展示即売しており、建築家、デザイナーたちにとって、恰好の国際情報交換の場所ともなっている。外資の進出など業界にも多くの課題があるが、「世はまさに宇宙時代だ、商売は頭脳の問題だ」と目を輝やかす石内社長の夢は果てしなく大きい。

洋書こぼれ話

昭和初年—1930前後（その2）

丸善本の図書館長 八 木 佐 吉

近ごろでは、ときどき全然新しい、今までに聞いたことも見たこともないような新造語の洋書タイトルを予告広告物などで見て首をひねることがある。まあ、大概是説明文や序文などを読めば、内容のおおよそは見当がつくことが多い。しかし、なかにはどうしても訳の解らないものもある。然らば、戦後どういふのがあったかと、いわれると一寸直ぐに出てこないが、戦前の1930年前後の例を一、二挙げてみる。

合理化という新語：第一次世界大戦後のドイツ国が混乱期を一応こえて、再建のための経済復興が試みられた1925～28年頃、展開された合理化運動を名づけて Rationalisierung とよんだ。その間のこと及び以後の諸事情や学問的説明はこの課題ではないので姑くおくとして、この合理化運動が他の欧米諸国にもまき起った。その結果英語でも Rationalization という新しい用語が使われ出した。そして、いうまでもなく、次々と New Publications のかずかずが刊行されたわけである。

試みに O.E.D. を引いて見ると、本文には rationalization の二様の意味を載せてあるが内容の違う語である。Supplement は1933年版である。こゝには追録として第3の説明が見られる。即ち “3. The reorganization of industry on scientific lines with elimination of waste labour, time and materials, and reduction of other costs” として最後にドイツ語の Rationalisierung にもとづくとしてある。ドイツ語で称えられたのが、英語となったことがあきらかに示されている。ところで、肝心の洋書のタイトルを書き留めておかなければ、こぼれ話の役にはたさない。

ドイツ書籍目録 “Deutsches Bucherverzeichnis” の1926～1930年の Rationalisierung のところを見ると50点以上のタイトルが並んでいて、今さらの如くその盛なることにおどろかされる。このなかで代表的に1930年出版の Fritz Reuter 編 Handbuch der Rationalisierung, 1234頁 (15マルク、¥7.50) を挙げておこう。英文物はドイツほどではないが、一つ一つ書名をあげていても曲がないことである。これまた、代表的といいたいが、文献としては代表とはいえないものだが、今日にも通じる広告文の伴った例をあげておく。J. A. Hobson. - Rationalisation and Unemployment; An Economic Dilemma. 1930. (3s 6d. ¥1.75) “合理化に絶対反対を唱へんとするものあり、全世界をあげて、産業合理化と失業との二問題は正に今日

の問題として甲論乙駁底止するところを知らざる……” とある。

Business Cycle, Trade Cycle: この語は大体1920年頃から、単行本の書名として現われてきた言葉。何だか、確実につかめなくて弱ったことを記憶している。その頃は字引きを引いても Business Cycle も Trade Cycle もそのものずばりは出ていない。勿論、景気変動とか、景気循環という訳語も見当らないのであった。西洋の分類表を探しても出てこない。そのうち新本はつづいて予告されてくるので困ったが、免も角、“門前の小僧”の知恵の範囲で Commerce と Economics の General and Miscellaneous に入れておけというわけで目録へ載せておいた。漸く1928年頃になってから、目録に Economic Statistics, とか Forecasting と一緒に Cycle を載せて “周期” と訳しておいて、お茶をにごした次才であった。1931年に “Forecasting Business Cycle” By W. M. Persons というのが Wiley から出版され輸入された。(¥4.50. ¥9.) この本の広告に “景気観測法” と日本語が添えられていることをつけ足しておこう。

ドイツの Konjunktur は書名としてもっと早い年代に本が出ていたらしいが、今一寸記憶がない。しかし1930年前後にはこれまた、数十のタイトルが現われてくる。

今日から顧みると、ばかばかしいような、何でもないようなことながら、学問の百科・全般を取り扱う洋書屋（本屋）という商売柄からいっても、文献の広告物などには、しっかりした分類を与えて、いやしくもお客さまに誤解・誤読をさせるようなことをしてはならないのである。このことは裏がえせば、正確な分類をし、内容の判定をあやまらずにお客先にオファーすれば売上げは、おのずから昇るというものであろう。

こぼれ話が、とんだ、お説経になって申しわけない。それから、cybernetics, technocracy, cyclotron などこの例に入り、困らされた思出が伴う語である。

いま50以上の年輩の方々ならば読んだ読まないにかゝわらず「西部戦線異状なし」といわれると大体の人は記憶がよみがえる書名であろう。第一次大戦に参加したドイツの Erich Maria Remarque (1898—) が “Im Westen nicht Neues” と題した反戦的内容の小説を出したのは1929年である。この年昭和4年は、“東京行進曲”や“紅屋の娘”のメロディーと歌が東京中に流行し始めていた。

一方では共同印刷の争議を扱った小説、徳永直の「太陽のない街」や小林多喜二の「蟹工船」などが雑誌「戦旗」に発表されたり、そのほか左右思想の入り交ったなかなか複雑な日本の世相であり、また前年1928年(昭和3年)6月の満州での張作霖事変以来の軍国調の高いなかでもあった。

こういう時期に“Im Westen nicht Neues”は出版直後輸入はされたが、これがベスト・セラーになったのはしばらく後のことであった。それは、早速に中央公論社が、このレマルクの作を「西部戦線異状なし」という真にうまい書名で翻訳して刊行したこと、劇団築地小劇場が本郷座で、ついでに新築地劇団が帝劇でこれを劇化上演したことなどに原因するのである。

英訳の“All Quiet on the Western Front”も同年ロンドンで出版され、この版もドイツ版に次いで歓迎された。このドイツ原文は一時的でなく数年間もついでに需要されていて、1931年7月号の「学灯」に再び広告されている。もっとも、この頃レマルクは“Der Weg zurück”(その後に来るもの)という新作を出したせいでもある。

レマルクはその後ナチスに追われて、1932年スイスへ、次いで1939年アメリカに赴いて帰化した模様である。戦後は1946年に“Arch of Triumph”(凱旋門)をAppleton社から出したことを追記しておく。

このころ、大部数売れた一般性のある洋書を書き出してみと、

Herbert George Wells (1866—1946) “Outline of History; a plain history of life and mankind”は1960年代の今日でも、いまだに出版販売されている名著である(Cassell版 1961. 36s)。

この本のそもそものは1919年から1920年にかけて初版が20分冊でロンドンの Newnes 社から出版された。分冊出版は、その頃のいわば「はりや」であった。これも1分冊1s. 2d. という廉価で毎月2分冊程度の発売なので、買いやすいことを狙ったのである。あとで書名入りの binding case (くるみ表紙) を別に販売し、購読者はこの表紙を用いて一定の分冊を製本する仕組みになっていた。製本は輸入店でも引受けてそれぞれの製本所に託したものであった。

さて、話をもとに戻すと Wells は1929年に J. Huxley と子息の P. G. Wells との共著で“Science of Life”という新著を出し始めた。この本は“Outline of History”の姉妹編と称されている。これも分冊出版であった。30分冊、毎月2分冊発行 1s. 3d. 邦価65銭という安値で“History”同様お客に大歓迎されたことであった。

これと前後して、アメリカの Garden City 出版社で“Outline of History”の one volume edition を \$1 で売り出した。イギリスの Cassell 版は廉価版で 8s. 6d. のがあったが、この版は邦価2円で1250頁を超す大冊の名著

が買えるというので、入荷即日売り切れと丸善の記録にある。もっとも部数は(秘)としておく。

これら両著とも、原書出版後程なく邦訳本が出ている。“世界文化史大系”と“生命の科学”がそれである。“文化史”の方は原著と同じように今でも邦語版が出ているとおもう。

H. G. Wells で大分ながくなったので、このほかはタイトルを並べるにとどめておく。

Manners and Customs of Mankind. 30分冊各冊65銭
(完結後3巻)

Peoples of All Nations. 7 vols. ¥66.50

Countries of the World. 6 vols. クロース ¥45.

Concise Universal Encyclopaedia. 単冊 1500頁 ¥15.
以上: London, Amalgamated Press 出版。

I See All: The World's First Picture Encyclopaedia.
10万個の挿絵による図解百科。5巻、3008頁、クロース装、¥45.

現代こぼれ話: P.O.D. の頁のこと

出先の売店からの問合せで、“お客さまに質問されたが、今度の P.O.D. はカヴァー(ジャケット)に1100頁と記されてあるが、内身をどう勘定しても少し足りないが、計算の仕方が悪いのか、つまり、カヴァーから、見返しまでも入れてのことなのか、または、この質問を持ち込んだお客さまがお買いになったのが落丁本ではなかったのか、”という意味の調査依頼なのである。何もわたくしの処へ持込まないでもよさそうなことなのだが、そこが、永年の親しみが変なところで思い出されたかららしい。だが、手元に P.O.D. がある訳ではないので、後ほどということで一応電話を切った。ところが、現物を取りよせて改めて見ると、前付が xxiv 頁、本文と補遺が通し頁で1048と丁附されている。巻末に“notes”と頭書きされた余り紙、いわば白紙が16頁ある。この白紙を本文の頁数に入れること自体、いやらしい計算の仕方だが、それはまあまあとして、これでしめて1088頁である。落丁はない模様。そうするとカヴァーや内容見本に1100頁とあるのは、僅か12頁(実質は白紙16頁を入れて28頁)とはいえ、水増し頁数である。

内容は名にし負うオックスフォード字典群の一つとして、中外に誇るに足るものと、誰もが認めている P.O.D. である。何も一寸ばかりの数字を見せびらかすようなことを、しないでよいのではないか。少し前から C.O.D. にかけてあるカヴァーにも総頁数が印刷されてあるのを思い出して、この方を当たってみたら、これはまさしく1584頁であった。しかし、notes の白紙12頁を入れてである。P.O.D. のは四捨五入の軽い気持で、数の整理が先だってしまってお客さまに不信(審)感をあたえたといってもよいであろうかしら。

海外ニュース

英国書籍の平均単価

政府刊行物(約500点)を除いて、英国では、1969年1月から6月までに、1,624の出版社から合計14,742点の書籍が出版され、定価の合計は£31,931 0s. 2d. で、平均単価は43s. 4d.であった。(1968年7月から12月までの6カ月間では、1,463社、15,470点、平均単価43s. 4d.であった。)

このうち、新刊書は、1969年1～6月においては、出版点数10,727点、定価総計£22,407 1s. 8d. で、平均単価41s. 9d. である。(1968年7～12月においては11,526点、£24,806 14s. 4d. で、平均単価43s. 4d.) であった。)

重版は4,015点、£9,523 18s. 6d. で、平均単価47s. 5d. である。(1968年7～12月では平均単価44s. 4d. であった。)

なお、前年同期(1968年1～6月)を見れば、1,400社より15,087点出版され、平均単価は40s. 9d. であり、このうち、新刊は11,152点、平均単価44s. 2d.、重版は3,935点、平均単価36s. 9d. であった。

(The Bookseller, 1969年8月23日号より)

新しい代理店

アメリカでは、特に Feffer & Simons 社と Henry M. Snyder & Co. の二社が、それぞれ100社以上の比較的小さな出版社の海外業務を代行する業者として知られてきたが、このほど、新たに Kaiman & Polon, Inc. (654 Madison Ave., New York City 10021) が設立され、これに一枚加わることになった。

新会社の社長は、ごく最近まで Academic Press のロードセールス・マネジャーであった Kenneth L. Kaiman 氏と、Simon & Schuster 社の前エクスポート・マネジャーの Albert L. Polon 氏である。

同社は、大衆市場向のものから、学術書、教育書にいたるまであらゆる種類の出版物を扱うし、アメリカ及び外国の出版社のみならず、外国の輸入業者や、アメリカの大学図書館の代理業務をも営む模様である。

(Publishers' Weekly, 1969年8月18日号より)

フランス・フラン切下げ

フランス新政権は、8月8日夕刻、抜打的にフランス・フランの平価切下げを決定した。これは11年ぶりの事態である。

新旧フランの比較

	旧 平 価	新 平 価
1 フラン	金 0.180グラム	0.160グラム
	72.92円	64.82円
	20.255セント	18.004セント
1 ドル当り	4.93706フラン	5.55419フラン

——紀伊国屋書店提供——

ニュース

- 米 Harper & Row 社の International Dept. Regional Manager, Mr. Robert C. Boettcher 8月中旬来日。
- 米 McGraw-Hill 社の Director-Circulation Development, Mr. R. Blackburn 8月中旬来日。
- 米 Van Nostrand Reinhold Company の Vice President, Mr. R.S.R. Hutchison 8月下旬来日。
- 米 Greenwood Press Inc. の Vice President, Mr. Herbert M. Johnson 9月上旬来日。
- 米 Frederick A. Praeger, Inc. の Mr. Schleber 9月上旬来日。

会 員 紹 介

文 化 の 泉

東京出版販売株式会社

社歌にうたわれている「新しき書物^{ふみ}普く満たす高き使命^{こぞ}に挙りたつ」東販は、昨年、江戸川のほとり東五軒町の一角にコンピューターをはじめ最新の配送設備をもつ八階建ての本社を新築、その偉容が象徴している通り、出版取次業界の中心的役割りを果している。昭和23年、戦時統制会社、日配の解散と同時に創立、以来、業績は上昇の一途をたどり、43年度の年商は800億円を上廻り、更に才三次五カ年計画終了の47年度には、年商1,600億円を目標としている。

洋書は海外課が扱い、全国6,000軒に及ぶ取引書店のセールスネットを活用、書店の手足となって、洋書購入の不便な僻地までへの洋書普及に尽力している。全国書店からの注文洋書はヴァリエティに富んでいるが、係員は社は「正確・迅速・親切」をモットーに、躍進日本の文化の泉たらんと日夜張り切っている。

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店のご案内がございました。お手許の Agent List にご記入願います。

海外出版貿易株式会社 ☎ 292—4271

Bibliotheca Mathematica Teubneriana
(Johnson Reprint Co.)

Nos. 15-20:

Bachmann, P.

Zahlentheorie; Versuch einer Gesamtdarstellung dieser Wissenschaft in ihren Hauptteilen, Leipzig, 1892-1926. 5 Vols. in 6 Pts. ¥ 34,000

Nos. 21-22:

Bieberbach, L.

Lehrbuch der Funktionentheorie, Leipzig, 1931 u. 1934. 2 Vols. 10,000

Nos. 23-24:

Czuber, E.

Wahrscheinlichkeitsrechnung und ihre Anwendung auf Fehlerausgleichung, Statistik u. Levensversicherung, Leipzig, 1938. 2 Vols. ... 11,000

No. 26:

Nielsen, N.

Handbuch der Theorie der Cylinderfunktionen, Leipzig, 1904 6,000

Nos. 28-29:

Pringsheim, A.

Vorlesungen über Zahlen- u. Funktionenlehre, Leipzig, 1916-1932. 2 Vols. in 5 Pts. 26,000

Nos. 30-31:

Schlesinger, L.

Handbuch der Theorie der linearen Differentialgleichungen, Leipzig, 1895-1898. 2 Vols. in 3 Pts. 18,000

No. 32:

Severi, F.

Vorlesungen über algebraische Geometrie, Leipzig. 8,000

No. 33:

Timerding, H. E.

Geometrie der Kräfte, Leipzig, 1908 6,000

No. 35:

Bieberbach, L.

Differentialgeometrie, Leipzig, 1932 4,000

No. 36:

Cesaro, E.

Vorlesungen über natürliche Geometrie,

Leipzig, 1926 [2. Aufl.] 7,000
No. 37:

Duhamel, J. M. C.

Lehrbuch der analytischen Mechanik, Leipzig, 1861 [2. Aufl.] 2 Vols. in 1 12,000

No. 38:

Henneberg, L. E.

Die graphische Statik der starren Systeme, Leipzig, 1911 12,000

No. 39:

Pockels, F. C.

Lehrbuch der Kristalloptik, Leipzig, 1905 12,000

No. 40:

Minkowski, H.

Geometrie der Zahlen, Leipzig, 1925 [Unveränd. Nachdr. d. 1. Aufl.] 6,000

No. 41:

Stäckel, P. (ed.)

Theorien der Parallellinien von Euklid bis auf Gauss. Eine Urkundensammlung zur Vorgesichte der nichteuklidischen Geometrie in Gemeinschaft mit Friedrich Engel, Leipzig, 1895 8,000

No. 42:

Borel, E.

Elemente der Mathematik; Vom Verfasser genehmigte deutsche Ausgabe besorgt von Paul Stäckel, Leipzig, 1919-1920. 2 Vols. in 1 ... 14,000

Nos. 43-44:

Clebsch, R. F. A.

Vorlesungen über Geometrie mit besonderer Benützung der Vorträge von Clebsch, Leipzig, 1891, 1906/1910 [Bearb. u. hrsg. von Ferdinand Lindemann] 2 Vols. in 3 Pts. 28,000

No. 45:

Curtze, M.

Urkunden zur Geschichte der Mathematik im Mittelalter u. der Renaissance, Leipzig, 1902. 2 Vols. in 1 10,000

<以下続刊の予定>

（株）紀伊国屋書店 ☎ 345—0131

The Reader's Encyclopedia of World Drama.

Ed. by John Gassner & Edward Quinn, 1,560 p.

350 photos & drawings. 1969 (T. Y. Crowell)

¥ 6,000

極 東 書 店 ☎ 265—7531

Sauer und Auvermann, Frankfurt/Main

Die Presse der Arbeiterklasse und der
sozialen Bewegung. 4 Bde. u. 2 Reg. Bde.

1969.

Bd. 1-4 ¥ 31,500

Zentralantiquariat der DDR, Leipzig

Böhmert, V., Beiträge zur Geschichte

des Zunftwesens (Preisschriften der

Jablonowski'schen Gesellschaft zu Leipzig,

9). Nachdruck (Leipzig 1862). VIII, 144 S.

1969.

¥ 3,670

丸 善 株 式 会 社 ☎ 272—7211

Bollmann-Bildkarten-Verlag. K. C., Braunschweig

All Maps

Adam Hilger, Ltd., London

All Publications

The Library Association, London

All Publications (Except for Periodicals)

ユナイテッド・パブリッシャーズ・サービス社

☎ 262—5278

新規加盟

The Pennsylvania State University Press. USA

(総代理店)

Darby Books. USA

(総代理店)

The Institute of Economic Affairs. UK (代理店)

Gower Press. UK

(代理店)

Richard D. Irwin, Inc. (incl. The Dorsey Press).

USA

(ストックリスト)

総代理店業務の停止

Iliffe Books (incl. Heywood & Co.). UK

W. H. Allen. UK



Betriebswirtschaftlicher Verlag Dr. Th. Gabler GmbH, Wiesbaden

ドイツ経営、経済学書出版社の重要なものの一つで便覧、経営学、会計学、経済学、商法、銀行、証券セミナーのプログラム等を収録いたしております。

日本代理店として販売促進のため国内在庫を一部取揃えましたが、逐次在庫を充実いたしますので、是非ご用命下さい。

1969/70の総合カタログは9月中旬に出来ますので、ご希望の方はお知らせ下さい。

日 本 代 理 店

滄 苑 閣

☎ 221 横浜市神奈川区松見町1—12—11

Tel. (045) 421—4 7 9 5

Rm 205, 442 Thlrld. St.,

Ann Arbor, Mich. 48103

洋書輸入協会主催

第2回 合 同 セ ー ル

◎ 大学問題にも負けず、国際金融不安にも負けず、洋書輸入協会は今秋才2回目
の合同セールを行います。

◎ と き 昭和44年10月14日（火）9.30～7.00
15日（水） //
16日（木）9.30～5.00

ところ 東京古書会館 Tel. (293) — 0161
東京都千代田区神田小川町3—22

◎ 今回は参加27社、出品点数10,000点 5,000万円以上。

◎ 100万円以上数点、10万円以上は可成りの数。

◎ カタログは社会科学（1,700点収録）自然科学（450点収録）2分冊、9月20
日発行と同時に全国1,400の得意先に発送されます。

◎ 日本読書新聞、図書新聞、Japan Times 等広告掲載の予定。

◎ これこそ協会員結束の好機、又、それが今日ほど必要な時はありません。

◎ 各社ネットワークを使うフルのPRをお願いします。これこそセールの成功
の最大の要素です。

昭和44年9月	通巻第29号	洋書輸入協会	編集者	寺久保一重
☎ 103	東京都中央区日本橋江戸橋1—15—5	藍沢ビル302号室	☎	271—6901
☎ 530	関西支部	大阪市北区芝田町28	第一山中ビル	☎ 371—5329
